

また、制度開始当初は問題が生じていなかったものの、各制度を取り巻く環境の変化により、助成額の算出において「正確性の確保」が困難となってきています。

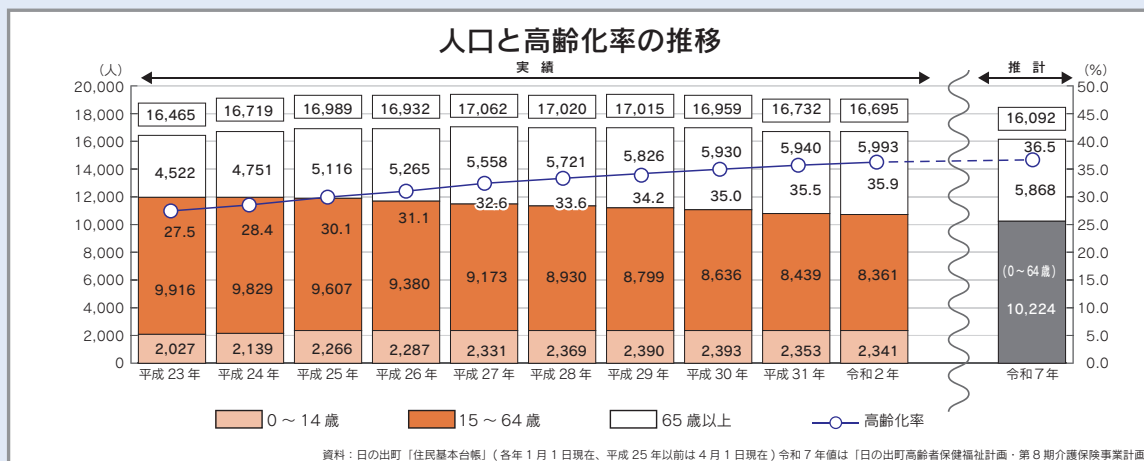
このようなことから、限られた資源（ヒト・モノ・カネ）の中で、合理的な活用による実効性が高く持続可能な行政サービスを提供していく必要があり、町の将来を見据えた冷静な判断として各制度の見直しを行います。

～元気に長生き奨励金～

日の出町の高齢化率は、年々増加し令和7年には36.5%になると見込まれており、令和4年は36.4%で、東京都の23.5%を大きく上回っている状況となっています。

三多摩市町村の敬老祝い金や記念品の支給状況は、88歳、99歳、100歳を支給対象にするなど、限定的な年齢での支給が多くなっています。

町においても個人への支給からその他の支援策への転換を図るため、見直しを行います。



三多摩市町村：敬老祝い金及び記念品年齢別支給状況

70歳	75歳	77歳	80歳	85歳	88歳	90歳	95歳	99歳	100歳	101歳以上	最高齢者
1	2	7	5	4	17	4	3	10	24	9	6
3.3%	6.7%	23.3%	16.7%	13.3%	56.7%	13.3%	10.0%	33.3%	80.0%	30.0%	20.0%

令和4年3月現在調べ、無支給の2団体を含む30市町村

将来ビジョン

高齢者が安心して幸せに暮らすまち

事業の見直しに加えて、新たな支援策の充実を図ることで、住み慣れた地域でいつまでも自分らしく暮らしていけるよう取り組んでまいります。

●高齢者支援策の継続

① 高齢者の社会参加（外出）の支援

外出支援バスの運行、お出かけ支援ドリームカーに加えて、本年7月から、「ぐるり～ん ひのでちゃん」を運行開始、交通空白地の解消を図りました。

② 安心して暮らすための支援

緊急通報システム、火災安全システム、ひとり暮らし高齢者セーフティーネット等、機器の設置により、安心して暮らしていくお手伝いをしています。

③ 生活への支援

調理が困難な方に定期的に栄養バランスの良い食事を配達する給食サービスや、介護用品（紙おむつ等）の給付を行い経済負担の軽減等を実施しています。

※上記事業は対象要件があります。